

よつばのクローバー



豊中市教育委員会
令和6年(2024年)
6月
NO. 3

庄内よつば学園開校に向けた「PTA 合同説明会」が開催される

6月8日(土)、庄内よつば学園開校に向けた「PTA 合同説明会」が、庄内南小多目的室にて開催されました。当日は、35名の保護者の方が参加され、「庄内よつば学園の標準服について」「校歌・校章の取り組みについて」「通学路について」をテーマに、説明及び意見交換する時間を持ちました。

この紙面では、「標準服のあり方」についての意見交流等について報告します。

【基本的な考え方】については、下記の通りになります。

- ・制服ではなく、標準服として服装のあり方を考える。
- ・多様性に配慮した形で、子どもの選択の幅を広げる。
- ・庄内よつば学園としての基準となる標準服(上下)を創る。
⇒ 安価で丈夫で長持ちする、洗濯機で洗える等の条件をクリアする。
- ・ステージ制を意識した着用指導をすすめる。



この「基本的な考え方」をベースに、具体的な着用ルールについては、下記の通り現段階での方向性(案)を提示し、子どもたちに続いてさまざまなご意見を保護者からいただき、今後改めて整理していく予定であるとのことで話しました。

【着用についての具体的なイメージ】(案)

第1ステージ → 自由服とする

第2ステージ → 行事・式典等については、標準服あるいは標準服に準ずる服装。それ以外については、自由服とする

第3ステージ → 標準服あるいは標準服に準ずる服装を基本とする

＊標準服は、ブレザー・スラックスを基本とする(スカートも選択肢に入れる)

中に着る服装は、カッター、ブラウス、ポロシャツを基本とするが、色は指定しない。

＊標準服に準ずる服装については、量販店等で購入可

＊開校後は、標準服等の運用については、児童会・生徒会で検討していく。(学校での学習や活動をすすめる服装を自分たちで考える。)

以上の説明の後、保護者からの質疑・意見交換の時間を持ちました。(一部紹介します)

Q: 来年、中学生になる子どもがいるのですが、第七中の標準服を着るのかよつばの標準服を着るのかどうなりますか。

A: よつばの標準服は、開校年度から着られるようになります。ただし、開校時すでに第七中の標準服を着用している方はそのまま着続けていただいて構いません。

Q: 第2ステージの行事・式典等とは具体的にどのような時を想定されていますか。

A: 入学式や卒業式、始業式、終業式、或いは合唱祭などの行事などが想定されますが、今後整理していくところでまだ詰めていません。キッチリしないといけない場面では、標準服または準ずる服装を着用してメリハリをつけていき、子どもたち自身がTPOを考えていけるような姿になればと考えています

Q: 標準服を購入する際に、上だけを購入することも可能でしょうか。例えば、ブレザーに校章が付いているようなものになるならば、違いがハッキリするのではないかと思います。

A: 今回お示ししている案では、強制的に上下セットを購入することは考えていませんので、ブレザーのみの購入は可能です。校章の有無等については業者が決定してから調整してまいります。

Q: 第3ステージでも標準服は買わなくても良いということでしょうか。

A: 今回お示ししている案では、標準服は買わなくても良いとしています。保護者の方からも量販店等で

買えるようにしてほしいというお声もいただいていたりと、個々の事情や本人の気持ちもあるため、標準服に準ずる服装を量販店等で購入することも可能としています。ただし、標準服自体がまだ作られていませんので、標準服に準ずる服装というイメージというものは、今の段階では掴めないと思いますので、それについては今後、標準服に準ずる服装の幅を考えていきたいと思っています。

Q：価格の目安があると買うか買わないかのイメージも持ちやすいかと思います。自由服であっても私服は買わないといけませんので、価格が高くなければ標準服を買う抵抗も生まれにくいと思いますが、経験上、標準服は高いイメージを持っています。今回、業者を選定される中で価格についてどれくらい比重を置かれているのでしょうか。

A：価格には非常に大きく比重を置いています。しかしながら、業者にとっては厳しいポイントになります。複数の業者に聞き取りをしていますが、様々な状況により来年度からは全国的に現在標準服を購入しているところでも価格を上げざるを得ないと聞いています。その状況の中、どれだけ価格を抑えていただけるかは業者との調整によります。業者との調整が進み次第、参考価格などをご提示できるような形にしたいと思っています。

Q：選択できることは自由で良い面もありますが、最初は着たいと思って購入したが、周りをみて着ないまま卒業することになってしまったらもったいないため、自由は自由でも方向性を持たせて購入しても無駄にならないようにしてほしいです。

A：ご意見の趣旨はよく分かります。着用イメージはまだ固まっていないので、参考にさせていただき整理をしてみたいです。また、周りがこうだからこうするというのは多様性とは少し異なってしまうと思っています。特に今はその傾向が強く、私たちが視察に行ったところはジャージを着る子が大半でした。ただ、市内の完全自由の中学校では、ジャージではなく個々が着たい服装を自由に着ています。よつばでも一人ひとり服装が異なっているという雰囲気をめざしており、皆が同じじゃないといけなような雰囲気は避けたいと思っています。

Q：大人はスーツを選ぶ際に指定のものを決められていけませんので、子どもも同じようにして指定の標準服は作らずにブレザー・スラックスについては自由に個々で購入する。その代わり、学校特有のシャツまたはワッペン等を購入することにしたら、価格も抑えられるので案としてどうかと思うのですがいかがでしょうか。

A：今回、標準服を作ると決めたのはアンケートで保護者も子どもも完全自由の声が半数を超えているわけではなかったからです。標準服を作ってほしいという声も多くあったため基準となる標準服は作ろうというイメージで考えていますが、いただいたご提案を含めてさらに検討していきたいと思っています。

授業の中で三つの力を育むために ～よつば小中合同授業研究会が開かれる

6月5日（水）には3小1中の教職員が集い、庄内よつば学園にむけて授業づくりをどうすすめていくかという課題をもとに研究会を実施しました。3小1中が統合して一つの学校になった時に、子どもたちがスムーズに授業に参加し、主体的に取り組みをすすめていくことができる状況をつくりだしていくことが大切であると考えています。

今回は、第七中の全学年・全クラス・全教科の授業を公開していただき、3小学校の教職員が参観し、その後交流・協議の時間を持ちました。今年度は、授業の中で三つの力（つながる力・まなぶ力・つくる力）をどのように育ていくのかを3小1中の共通の研究テーマに掲げて取り組んでいます。授業の中での子どもの学び姿を実際にみていくことで、「やってみたいこと」や「困っている」ことなどを具体的に交流し、ステージごとのつながりや教科間のつながりをどのように作っていくのかの話し合いをすすめました。



次回は9月に、今度は小学校の授業を公開し、交流・協議を重ねていく予定です。